



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年11月8日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東  
 コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)守安 功  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画本部長 (氏名)大井 潤 (TEL)03(6758)7200  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	68,215	△7.0	10,674	△21.9	14,145	△12.0	10,195	△6.2	9,666	△6.6	3,563	△88.3
2018年3月期第2四半期	73,314	△4.2	13,658	△10.3	16,071	6.1	10,864	△6.7	10,346	△7.9	30,552	49.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	66.54	66.44
2018年3月期第2四半期	71.29	71.17

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する資本合計	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	326,360	269,950	261,874	80.2
2018年3月期	344,609	271,150	263,285	76.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2019年3月期	—	0.00			
2019年3月期(予想)			—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 2019年3月期の配当予想は未定です。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	7.6	15,500	△43.6	11,000	△52.1	75.78

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 、 除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期2Q	150,810,033株	2018年3月期	150,810,033株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年3月期2Q	5,460,269株	2018年3月期	5,656,793株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期2Q	145,262,076株	2018年3月期2Q	145,130,986株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(2019年3月期2Q:274,984株、2018年3月期:361,122株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 配当予想金額に関して

2019年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2018年11月8日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(7) 要約四半期連結財務諸表注記 .....	10
① 会計方針の変更 .....	10
② セグメント情報 .....	10
③ 1株当たり利益 .....	12
④ 重要な後発事象 .....	12

## 1. 経営成績・財政状態の概況

### (1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)におけるわが国経済は、緩やかに回復しました。

このような状況の下、当連結会計年度において当社グループは、中長期で企業価値を向上させるべく、主力のゲーム事業においては健全な収益性の確保や新規ヒットタイトルの創出、加えて、長期的に複数の収益の柱を育てていくことを見据えた成長へ向けた事業ポートフォリオの強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間において、売上収益は、主としてゲーム事業の減収により、前年同期比で減少いたしました。

売上原価・販売費及び一般管理費は、合計では、前年同期比で減少となりました。ゲーム内課金の決済等に関する支払手数料が減少したほか、販売促進費・広告宣伝費をはじめ、各種費用の適正化に努めました。なお、前年同期には、連結子会社であった株式会社DeNAトラベルにおいて判明した2017年3月期以前における一部取引に係る原価計上漏れ等の修正を行っております。

その他の費用は、ゲーム事業における固定資産の除却が増加したことにより、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当社グループの売上収益は68,215百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は10,674百万円(同21.9%減)、税引前四半期利益は14,145百万円(同12.0%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9,666百万円(同6.6%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は42,715百万円(前年同期比12.3%減)、セグメント利益は10,063百万円(同25.3%減)となりました。

ユーザ消費額は前年同期比で減少いたしました。費用面では、販売促進費・広告宣伝費や業務委託費等を中心に筋肉質化を図ったほか、さらなる固定費の最適化を継続的に行い、健全な収益性確保に向けた取り組みを推進しております。

#### ②EC事業

EC事業の売上収益は6,081百万円(前年同期比24.0%減)、セグメント利益は621百万円(前年同期は135百万円の損失)となりました。

売上収益は主に、2018年5月31日付で行った株式会社DeNAトラベルの全株式譲渡に伴い、前年同期比で減少いたしました。また前述のとおり、前年同期は、同社の過年度における原価計上漏れ等の修正を行った影響でセグメント損失になっております。

#### ③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は14,612百万円(前年同期比17.1%増)、セグメント利益は5,403百万円(同22.5%増)となりました。

株式会社横浜DeNAベイスターズの主催試合の平均観客動員数が好調に推移したことに加え、入場料以外の収入も順調に推移しました。

#### ④新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は5,187百万円(前年同期比13.7%増)、セグメント損失は3,548百万円(前年同期は2,477百万円の損失)となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みを含んでおりますが、当連結会計年度においては、オートモーティブ事業やヘルスケア事業、ネットサービスインキュベーション事業における一部のサービスにおいて成長投資を積極化しております。

## (2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は326,360百万円(前連結会計年度末比18,250百万円減)となりました。

流動資産は149,287百万円(同7,818百万円減)となりました。主な減少要因は売掛金及びその他の短期債権が4,928百万円減少したこと、その他の流動資産が5,533百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は177,073百万円(同10,432百万円減)となりました。主な減少要因はその他の長期金融資産が11,300百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は56,410百万円(同17,050百万円減)となりました。

流動負債は45,652百万円(同13,751百万円減)となりました。主な減少要因は買掛金及びその他の短期債務が2,501百万円減少したこと、その他の流動負債が10,501百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は10,758百万円(同3,299百万円減)となりました。主な減少要因は繰延税金負債が2,875百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は269,950百万円(同1,200百万円減)となりました。主な減少要因はその他の資本の構成要素が6,644百万円減少したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第2四半期連結会計期間末において流動比率327.0%、親会社所有者帰属持分比率80.2%となっております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,927百万円増加し、106,595百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13,830百万円(前年同期は24,101百万円の収入)となりました。主な収入要因は税引前四半期利益14,145百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7,503百万円(前年同期は6,822百万円の支出)となりました。主な支出要因は無形資産の取得7,126百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4,019百万円(前年同期は6,990百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金支払額4,640百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	103,668	106,595
売掛金及びその他の短期債権	40,574	35,646
その他の短期金融資産	2,878	2,593
その他の流動資産	9,986	4,453
流動資産合計	157,105	149,287
非流動資産		
有形固定資産	5,178	7,124
のれん	46,335	46,099
無形資産	18,840	16,597
持分法で会計処理している投資	16,503	18,124
その他の長期金融資産	99,563	88,263
繰延税金資産	1,020	850
その他の非流動資産	66	15
非流動資産合計	187,504	177,073
資産合計	344,609	326,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	20,426	17,925
未払法人所得税	1,371	2,955
その他の短期金融負債	21,884	19,551
その他の流動負債	15,722	5,221
流動負債合計	59,403	45,652
非流動負債		
非流動の引当金	949	957
その他の長期金融負債	988	563
繰延税金負債	11,895	9,020
その他の非流動負債	225	219
非流動負債合計	14,057	10,758
負債合計	73,460	56,410
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	11,335	11,172
利益剰余金	210,044	214,929
自己株式	△12,010	△11,498
その他の資本の構成要素	43,518	36,874
親会社の所有者に帰属する資本合計	263,285	261,874
非支配持分	7,865	8,076
資本合計	271,150	269,950
負債及び資本合計	344,609	326,360

## (2) 要約四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上収益	73,314	68,215
売上原価	△29,148	△28,592
売上総利益	44,166	39,623
販売費及び一般管理費	△30,676	△27,992
その他の収益	658	606
その他の費用	△490	△1,563
営業利益	13,658	10,674
金融収益	1,152	2,143
金融費用	△190	△246
持分法で会計処理している関連会社の純利益 (純損失)に対する持分	1,452	1,575
税引前四半期利益	16,071	14,145
法人所得税費用	△5,208	△3,950
四半期利益	10,864	10,195
以下に帰属する四半期利益		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	10,346	9,666
四半期利益：非支配持分に帰属	518	529
合計	10,864	10,195

(単位：円)

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益	71.29	66.54
希薄化後1株当たり四半期利益	71.17	66.44

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	10,864	10,195
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	19,617	△6,850
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	19,617	△6,850
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	71	219
その他	1	△0
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	72	219
その他の包括利益(税引後)	19,689	△6,631
四半期包括利益合計	30,552	3,563
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	29,987	3,070
四半期包括利益：非支配持分に帰属	566	494
合計	30,552	3,563

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
2017年4月1日現在	10,397	11,215	191,870	△12,225	28,409	229,666	7,030	236,696
四半期利益	—	—	10,346	—	—	10,346	518	10,864
その他の包括利益	—	—	—	—	19,641	19,641	48	19,689
四半期包括利益合計	—	—	10,346	—	19,641	29,987	566	30,552
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△4,643	—	—	△4,643	△1,187	△5,830
自己株式取引による増加(減少)	—	△251	—	200	—	△51	—	△51
株式報酬取引による増加(減少)	—	△16	—	—	32	16	—	16
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	56	△56	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	5	—	—	—	5	7	12
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	39	△5	—	—	34	823	857
2017年9月30日現在	10,397	11,047	197,512	△12,025	48,083	255,013	7,239	262,252

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
2018年4月1日現在	10,397	11,335	210,044	△12,010	43,518	263,285	7,865	271,150
四半期利益	—	—	9,666	—	—	9,666	529	10,195
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,596	△6,596	△35	△6,631
四半期包括利益合計	—	—	9,666	—	△6,596	3,070	494	3,563
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△4,645	—	—	△4,645	△693	△5,338
自己株式取引による増加(減少)	—	△397	—	512	△164	△49	—	△49
株式報酬取引による増加(減少)	—	116	—	—	116	231	—	231
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	117	△117	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	—	—	—	—	—	△6	△6
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	0	△18	—	—	△18	416	397
2018年9月30日現在	10,397	11,172	214,929	△11,498	36,874	261,874	8,076	269,950

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	16,071	14,145
減価償却費及び償却費	5,298	5,514
受取利息及び受取配当金	△843	△923
支払利息	8	6
持分法で会計処理している関連会社の純利益(純損失)に対する持分(△は純利益)	△1,452	△1,575
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	2,714	1,406
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△906	△2,686
預り金の増減額(△は減少)	△886	1,946
前受金の増減額(△は減少)	△2,518	△2,730
その他	3,268	△1,339
小計	20,755	13,765
配当金受取額	805	849
利息支払額	△8	△6
利息受取額	38	75
法人所得税支払額	△2,273	△1,374
法人所得税還付額	4,784	522
営業活動による正味キャッシュ・フロー	24,101	13,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の売却による収入	57	—
子会社又はその他の事業の売却による支出	—	△628
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	881	2,194
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△363	△28
有形固定資産の取得	△369	△1,945
無形資産の取得	△7,102	△7,126
その他	73	29
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△6,822	△7,503
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	1,200
借入金の返済	△1,300	—
配当金支払額	△4,641	△4,640
非支配持分からの払込による収入	12	—
非支配株主への配当金支払額	△1,154	△653
自己株式の処分による収入	94	74
その他	—	△0
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△6,990	△4,019
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,289	2,308
現金及び現金同等物の期首残高	88,152	103,668
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△68	618
現金及び現金同等物の四半期末残高	98,373	106,595

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 要約四半期連結財務諸表注記

## ① 会計方針の変更

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第9号「金融商品」(2014年7月改訂)及びIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。なお、当社グループの要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、上記を除き、2018年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

## ② セグメント情報

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「EC事業」、「スポーツ事業」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス(日本国内及び海外) 主要サービス： 「Mobage(モバゲー)」等
EC事業	eコマース関連サービス(日本国内及び海外) 主要サービス： 決済代行サービス、「モバオク」、「DeNAトラベル」(注)等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス(日本国内) 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」、「横浜DeNAランニングクラブ」等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス(日本国内及び海外) 主要事業領域： IP創出プラットフォーム事業、ヘルスケア事業、オートモーティブ事業、ネットサービスインキュベーション事業等

(注) 当社は、「DeNAトラベル」を運営していた株式会社DeNAトラベルの全株式を、2018年5月31日付で株式会社エボラブルアジアに譲渡いたしました。

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (7) 要約四半期連結財務諸表注記 ① 会計方針の変更」における記載と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

## 前第2四半期連結累計期間

(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	EC事業	スポーツ事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益						
外部顧客からの売上収益	48,700	7,657	12,397	4,561	—	73,314
セグメント間の売上収益	15	345	86	2	△447	—
計	48,714	8,002	12,482	4,562	△447	73,314
セグメント利益(損失) (注) 1	13,465	△135	4,410	△2,477	△1,773	13,490
その他の収益・費用(純額)						168
営業利益						13,658
金融収益・費用(純額)						961
持分法で会計処理している関連会社の純利益(純損失)に対する持分						1,452
税引前四半期利益						16,071

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・ヘルスケア事業・オートモーティブ事業・ネットサービスインキュベーション事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 当第2四半期連結累計期間

(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	EC事業 (注) 2	スポーツ事業	新規事業 ・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益						
外部顧客からの売上収益	42,697	5,767	14,564	5,187	—	68,215
セグメント間の売上収益	18	314	48	0	△380	—
計	42,715	6,081	14,612	5,187	△380	68,215
セグメント利益(損失) (注) 1	10,063	621	5,403	△3,548	△909	11,630
その他の収益・費用(純額)						△957
営業利益						10,674
金融収益・費用(純額)						1,897
持分法で会計処理している関連会 社の純利益(純損失)に対する持 分						1,575
税引前四半期利益						14,145

- (注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
- 2 「EC事業」に属する「DeNAトラベル」を運営していた株式会社DeNAトラベルの全株式を、2018年5月31日付で株式会社エゴラブルアジアに譲渡いたしました。
- 3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・ヘルスケア事業・オートモーティブ事業・ネットサービスインキュベーション事業等を含んでおります。
- 4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ③ 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	10,346	9,666
基本的期中平均普通株式数 (株)	145,130,986	145,262,076
希薄化性潜在的普通株式の影響 ：ストック・オプション等	239,474	224,033
希薄化後の期中平均普通株式数	145,370,460	145,486,109
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	71.29	66.54
希薄化後1株当たり四半期利益	71.17	66.44

## ④ 重要な後発事象

該当事項はありません。